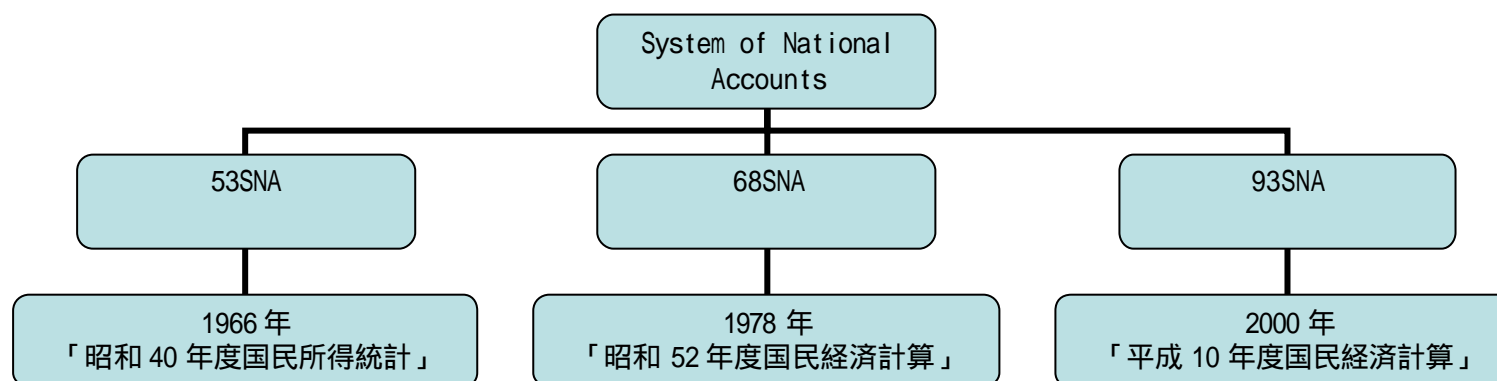
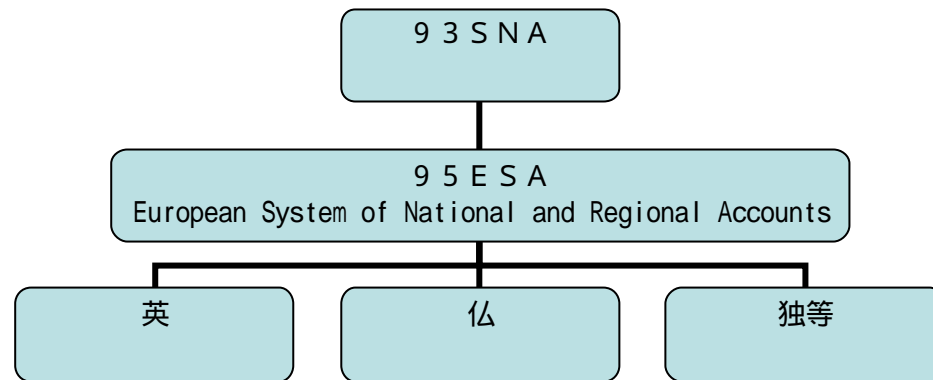


我が国のSNA体系の体系的名称

国連のSNA体系と我が国における採用



欧州における体系



「93SNA/95ESA」

我が国でも体系に名称をつけるとすれば

「93SNA/04JSA」

Japanese System of National and Regional Accounts

実質化手法の連鎖方式の移行と「基準改定」

これまで「基準年」という概念には、

「国勢調査」「産業連関表」等重要な基礎統計の入手や新たな推計概念の導入を踏まえた名目値のベンチマークとなる年

実質値・デフレーターにおける指数算式のウェイト統合の基準となる年

デフレーター = 100 となる実質値の基準となる年

という3つの意味があり、今まではそれらは同一年であった。

連鎖方式への移行により、これらは分離されることになる。

体系基準年 (benchmark year) ・ ・ ・ 名目推計値が体系の基準値

基準年 (base year)

参照年 (reference year)

と整理。

これまで「基準改定」と称してきた作業が のニュアンスが強いとすれば、推計概念の変更を意識した「体系移行」という名称に移行してはどうか。

例：93SNA/00JSA 93SNA/04JSA への「体系移行」

Q E 推計マニュアルへの記号付与

Q E の推計方式は、基礎統計の変化によって必然的に変化。

Q E 作業は年 8 回であるため、推計方法変更を公表した月名での記述が可能。

「93SNA/04JSA/0412QE」という推計マニュアルへの記号付与が可能に。

イメージ

「93SNA/00JSA/0208QE」	「新 Q E」
「93SNA/00JSA/0211QE」	参考系列改定
	季節調整 ARIMA モデル改定
	配分比率改定
	在庫純増額配分比率改定
...	
「93SNA/04JSA/0411QE」	実質化手法の連鎖方式への移行